㈡　立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種　次のとおりとする。

（「次の図」及び「次のとおり」は、省略し、その図面及び関係書類を宮崎県庁及び西米良村役場に備え置いて縦覧に供する。）

○農林水産省告示第七百六十一号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第二十六条第一項の規定により、次のように保安林の指定を解除する。

平成三十年四月四日　農林水産大臣　齋藤　健

一　解除に係る保安林の所在場所　岐阜県土岐市妻木町字西山三二四七の二九四、三二四七の二九五、三二四七の三六九

二　保安林として指定された目的　土砂の流出の防備

三　解除の理由　指定理由の消滅

○農林水産省告示第七百六十二号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第二十六条第二項の規定により、次のように保安林の指定を解除する。

平成三十年四月四日　農林水産大臣　齋藤　健

一　解除に係る保安林の所在場所　岐阜県土岐市妻木町字西山三二四七の四三三、三二四七の四三八から三二四七の四四〇まで

二　保安林として指定された目的　土砂の流出の防備

三　解除の理由　道路用地とするため

○農林水産省告示第七百六十三号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第二十六条第一項の規定により、次のように保安林の指定を解除する。

平成三十年四月四日　農林水産大臣　齋藤　健

一　解除に係る保安林の所在場所　愛知県北設楽郡東栄町大字下田字向山一四の五（次の図に示す部分に限る。）

二　保安林として指定された目的　土砂の流出の防備

三　解除の理由　指定理由の消滅

（「次の図」は、省略し、その図面を愛知県庁及び東栄町役場に備え置いて縦覧に供する。）

○農林水産省告示第七百六十四号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第二十六条第二項の規定により、次のように保安林の指定を解除する。

平成三十年四月四日　農林水産大臣　齋藤　健

一　解除に係る保安林の所在場所　愛知県北設楽郡東栄町大字下田字向山一四の五（次の図に示す部分に限る。）、一四の三、一四の四

二　保安林として指定された目的　土砂の流出の防備

三　解除の理由　道路用地とするため

（「次の図」は、省略し、その図面を愛知県庁及び東栄町役場に備え置いて縦覧に供する。）

○農林水産省告示第七百六十五号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第二十六条第二項の規定により、次のように保安林の指定を解除する。

平成三十年四月四日　農林水産大臣　齋藤　健

一　解除に係る保安林の所在場所　岐阜県高山市清見町上小鳥字スクジラ九五八（国有林。次の図に示す部分に限る。）

二　保安林として指定された目的　水源の涵養

三　解除の理由　一般送配電事業用地とするため

（「次の図」は、省略し、その図面を岐阜県庁及び高山市役所に備え置いて縦覧に供する。）

○農林水産省告示第七百六十六号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第二十六条第二項の規定により、次のように保安林の指定を解除する。

平成三十年四月四日　農林水産大臣　齋藤　健

一㈠　解除に係る保安林の所在場所　滋賀県長浜市木之本町川合字東山一の一四

㈡　保安林として指定された目的　水源の涵養

㈢　解除の理由　道路用地とするため

二㈠　解除に係る保安林の所在場所　滋賀県長浜市木之本町古橋字与しろ一一二〇の四、一一二〇の五

㈡　保安林として指定された目的　土砂の崩壊の防備

㈢　解除の理由　道路用地とするため

○農林水産省告示第七百六十七号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第二十六条第二項の規定により、次のように保安林の指定を解除する。

平成三十年四月四日　農林水産大臣　齋藤　健

一　解除に係る保安林の所在場所　鹿児島県鹿屋市北田町一一〇九五の一二（次の図に示す部分に限る。）

二　保安林として指定された目的　土砂の崩壊の防備

三　解除の理由　道路用地とするため

（「次の図」は、省略し、その図面を鹿児島県庁及び鹿屋市役所に備え置いて縦覧に供する。）

○農林水産省告示第七百六十八号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第二十六条第二項の規定により、次のように保安林の指定を解除する。

平成三十年四月四日　農林水産大臣　齋藤　健

一㈠　解除に係る保安林の所在場所　北海道芦別市・広尾郡広尾町（以上一市一町国有林。次の図に示す部分に限る。）

㈡　保安林として指定された目的　水源の涵養

㈢　解除の理由　道路用地とするため

二㈠　解除に係る保安林の所在場所　北海道広尾郡広尾町（国有林。次の図に示す部分に限る。）

㈡　保安林として指定された目的　土砂の崩壊の防備

㈢　解除の理由　道路用地とするため

（「次の図」は、省略し、その図面を北海道庁並びに芦別市役所及び広尾町役場に備え置いて縦覧に供する。）

○農林水産省告示第七百六十九号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第二十六条第二項の規定により、次のように保安林の指定を解除する。

平成三十年四月四日　農林水産大臣　齋藤　健

一　解除に係る保安林の所在場所　滋賀県大津市上田上桐生町三五五三（国有林。次の図に示す部分に限る。）

二　保安林として指定された目的　土砂の流出の防備

三　解除の理由　道路用地とするため

（「次の図」は、省略し、その図面を滋賀県庁及び大津市役所に備え置いて縦覧に供する。）

○農林水産省・環境省告示第三号

遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（平成十五年法律第九十七号）第四条第一項の規定に基づき、平成三十年三月十五日付けをもって次の第一種使用規程の承認をしたので、同法第八条の規定に基づき告示する。

平成三十年四月四日

農林水産大臣　齋藤　健
環境大臣　中川　雅治

承認番号　18―46V―0001

承認を受けた者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	国立大学法人東京農工大学 学長　大野　弘幸 東京都府中市晴見町三丁目8番1号
承認を受けた第一種使用規程	
遺伝子組換え生物等の種類の名称	SLAM blind変異導入麻疹ウイルス（HL株）(SLAM blind H, *measles virus*)、SLAM blind変異及びEGFP遺伝子導入麻疹ウイルス（HL株）(*SLAM blind H, EGFP, measles virus*)
遺伝子組換え生物等の第一種使用等の内容	獣医療法に基づいて開設の届出が行われ、その構造設備が獣医療法に基づく基準に適合している診療施設（以下「治療施設」という。）における動物の治療を目的とした使用、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為